


# 管内經濟情勢報告










令和 4 年 1 月  
財務省 四国財務局

# 四国財務局管内経済情勢報告

	前回（3年10月判断）	今回（4年1月判断）	前回比較	総括判断の要点
総括判断	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている （6期ぶり下方修正）	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、持ち直しつつある （5期ぶり上方修正）		個人消費は、スーパーが堅調であるほか、コンビニエンスストアや観光等が持ち直しつつあることから、全体としては、感染症の影響がみられるものの、持ち直しつつある。生産活動は、電気機械、汎用・生産用機械で持ち直しのテンポが緩やかになっており、輸送機械で弱含んでいることから、全体としては持ち直しのテンポが緩やかになっている。雇用情勢は、感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある。

〔先行き〕

先行きについては、感染対策に万全を期し、経済社会活動を継続していく中で、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、持ち直していくことが期待される。ただし、感染症による影響や供給面での制約、原材料価格の動向による下振れリスクに十分注意する必要がある。

	前回（3年10月判断）	今回（4年1月判断）	前回比較
個人消費	感染症の影響がみられるなか、足踏みの状況にある	感染症の影響がみられるものの、持ち直しつつある	
生産活動	一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに持ち直している	持ち直しのテンポが緩やかになっている	
雇用情勢	一部に底堅さがみられるものの、感染症の影響により、弱い動きとなっている	感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある	
公共事業	前年度を上回っている	前年度を下回っている	
住宅建設	前年を上回っている	前年を上回っている	
設備投資	3年度は前年度を上回る見込み	3年度は前年度を上回る見込み	
企業収益	3年度は増益見込み	3年度は増益見込み	

※ 4年1月判断は、前回3年10月判断以降、4年1月に入ってからの足下の状況までを含めた期間で判断している。

# 個人消費

## 個人消費

**感染症の影響がみられるものの、持ち直しつつある**  
(5期ぶり上方修正)

- スーパーは、衣料品に持ち直しの動きがみられるほか、飲食料品が堅調であることから、全体としては堅調となっている。
- コンビニエンスストアは、米飯類やカウンターコーヒー等に持ち直しの動きがみられることから、全体としては持ち直しつつある。

### 〔主なヒアリング結果〕

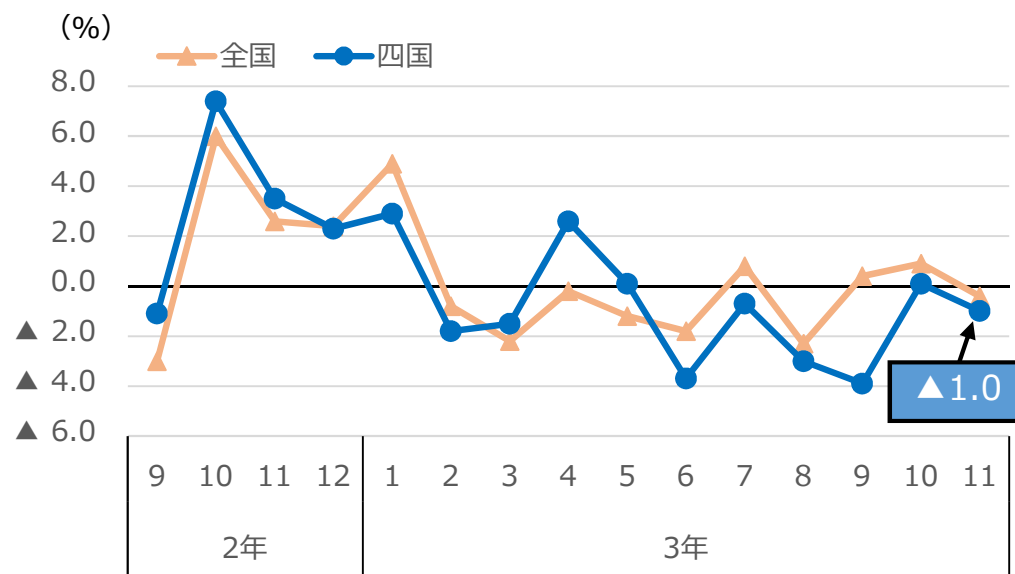
#### 「スーパー」

- 感染者数の落ち着きから、来店客数が増えており、衣料品に持ち直しの動きがみられる。また、飲食料品は調理の手間がかからない総菜や冷凍食品を中心に動きはよい。

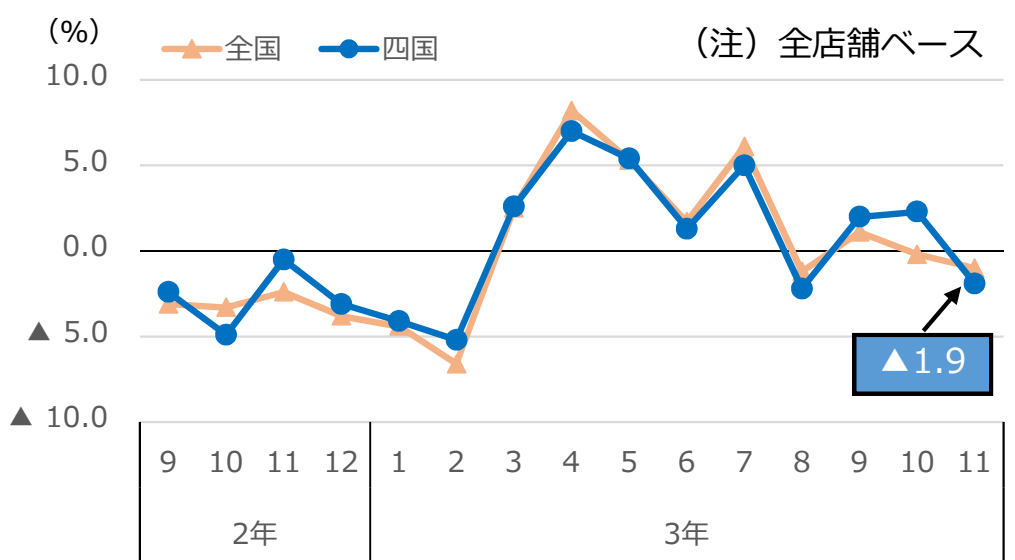
#### 「コンビニエンスストア」

- 感染者数の落ち着きから、外出する機会が増加しており、米飯類やカウンターコーヒー等の動きがよくなっている。

### 〔スーパー販売額（前年同月比）〕 (注) 全店舗ベース



### 〔コンビニエンスストア販売額（前年同月比）〕 (注) 全店舗ベース



【出所】 経済産業省、四国経済産業局

# 個人消費

- ドラッグストアは、飲食料品等に動きがみられることから、全体としては順調となっている。
- 家電大型専門店は、エアコン等に動きがみられることから、全体としては底堅いものとなっている。
- ホームセンターは、園芸用品等に動きがみられることから、全体としては堅調となっている。

## 〔主なヒアリング結果〕

### 「ドラッグストア」

- 引き続き、取り扱いを強化している飲食料品の動きはよい。また、気温の低下によってカイロなどの季節商品にも動きがみられる。

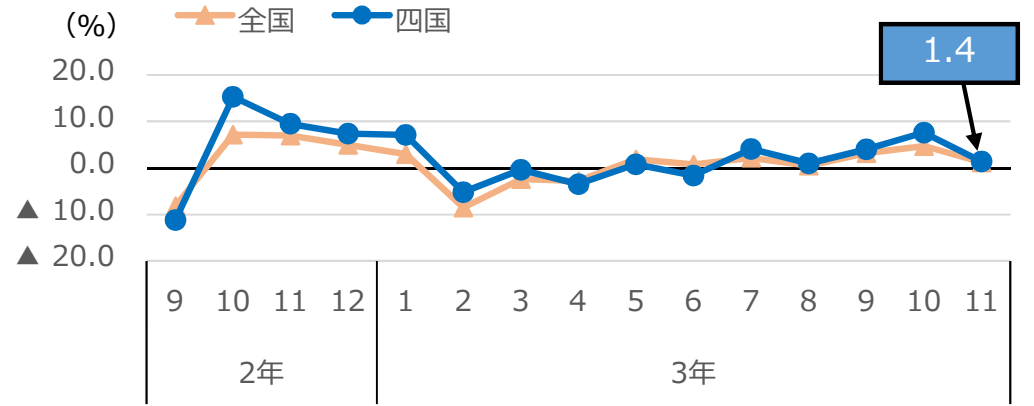
### 「家電大型専門店」

- 寒波の影響により、エアコンの動きがよい。

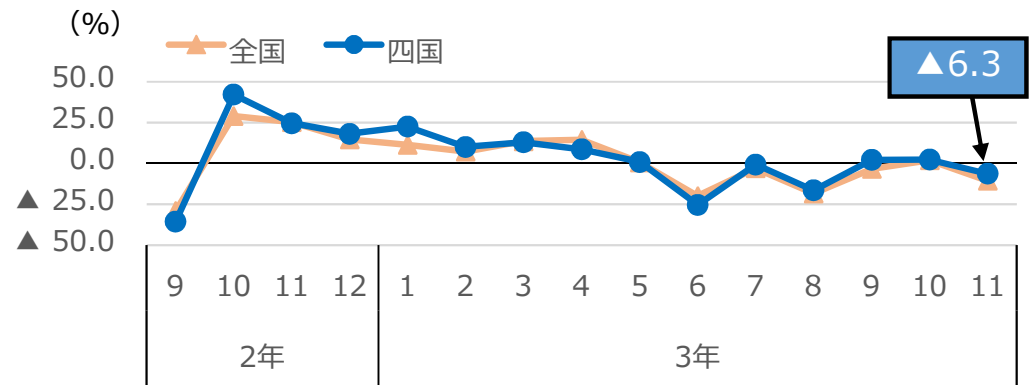
### 「ホームセンター」

- 引き続き、園芸用品等の需要は高い。

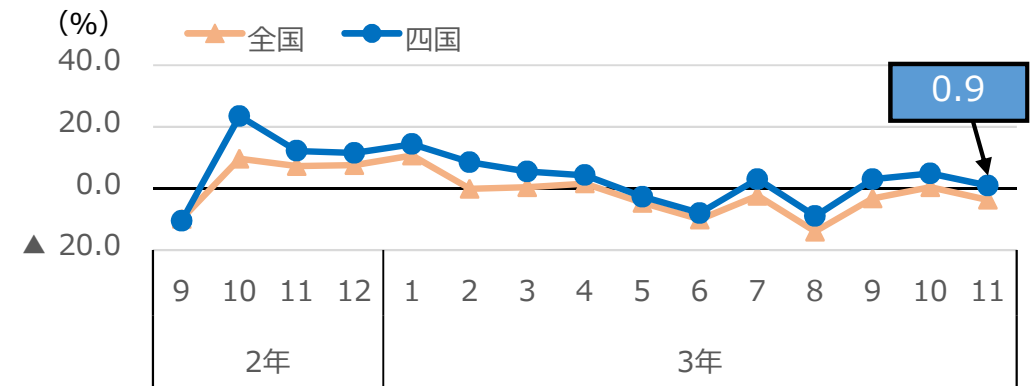
〔ドラッグストア販売額（前年同月比）〕（注）全店舗ベース



〔家電大型専門店販売額（前年同月比）〕（注）全店舗ベース



〔ホームセンター販売額（前年同月比）〕（注）全店舗ベース



【出所】経済産業省、四国経済産業局

# 個人消費

- 百貨店は、衣料品等に持ち直しの動きがみられることから、全体としては持ち直しつつある。
- 乗用車の新車登録・届出台数は、普通車、小型車、軽乗用車のいずれにおいても前年を下回っている。
- 観光は、感染者数の減少などから、持ち直しつつある。
- 旅行は、国内旅行は緩やかに持ち直しつつあり、海外旅行は不調となっている。

## 〔主なヒアリング結果〕

### 「百貨店」

- 感染者数の落ち着きから、来店客数は増えており、衣料品を中心に持ち直しの動きがみられる。

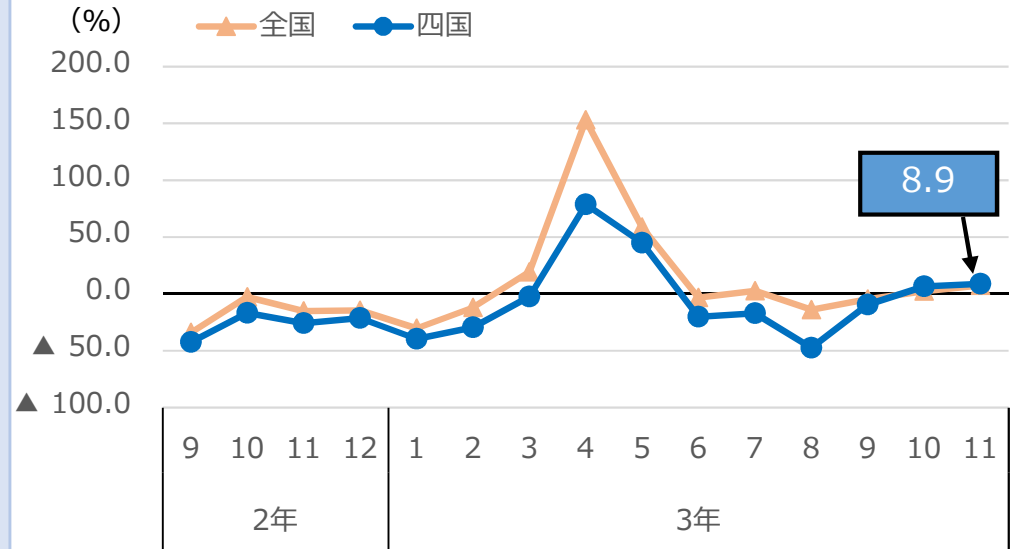
### 「観光」

- 感染者数の減少に伴い、観光客数は増加傾向にある。年末年始など冬休み期間中は、県外客も多くみられた。一方で、年明け以降、感染者数が増加していることから、先行きに不安がある。

### 「旅行」

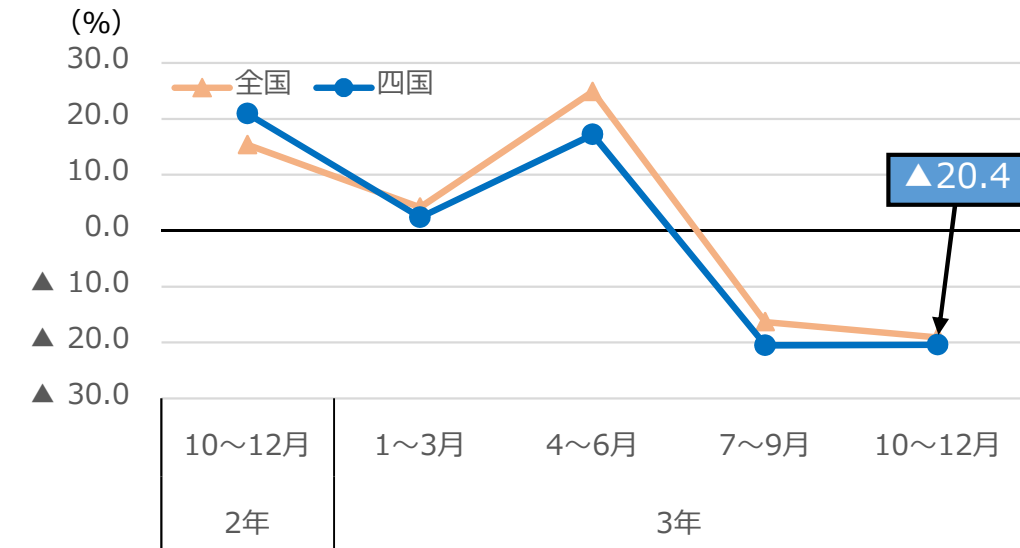
- 県民割の再開などから、県内向けの旅行に動きがみられる。一方で、年明け以降、感染者数が増加していることから、予約のキャンセルが発生している。

## 〔百貨店販売額（前年同月比）〕 (注) 全店舗ベース



【出所】経済産業省、四国経済産業局

## 〔乗用車新車登録・届出台数（前年同期比）〕



【出所】日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会、四国運輸局の公表データから算出

# 生産活動

## 生産活動

### 持ち直しのテンポが緩やかになっている

(6期ぶり下方修正)

○電気機械は、自動車向けに弱い動きがみられることから、持ち直しのテンポが緩やかになっている。汎用・生産用機械は、一部に供給面での制約による減産がみられることから、持ち直しのテンポが緩やかになっている。輸送機械は、原材料価格の上昇の影響がみられることなどから、弱含んでいる。こうしたことから、全体としては持ち直しのテンポが緩やかになっている。

#### 〔主なヒアリング結果〕

##### 《電気機械》

○自動車減産の影響で、生産量が減少している。

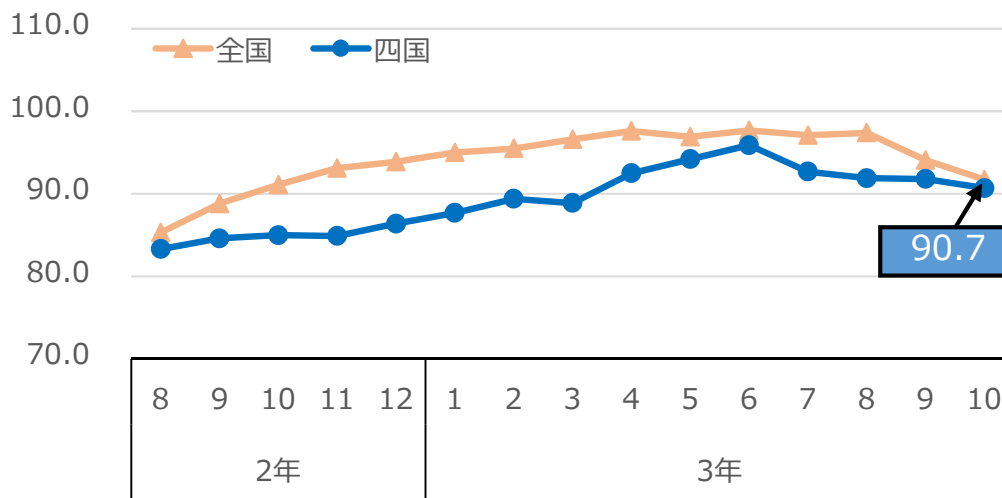
##### 《汎用・生産用機械》

○部品の供給不足の影響により、減産を余儀なくされている。

##### 《輸送機械》

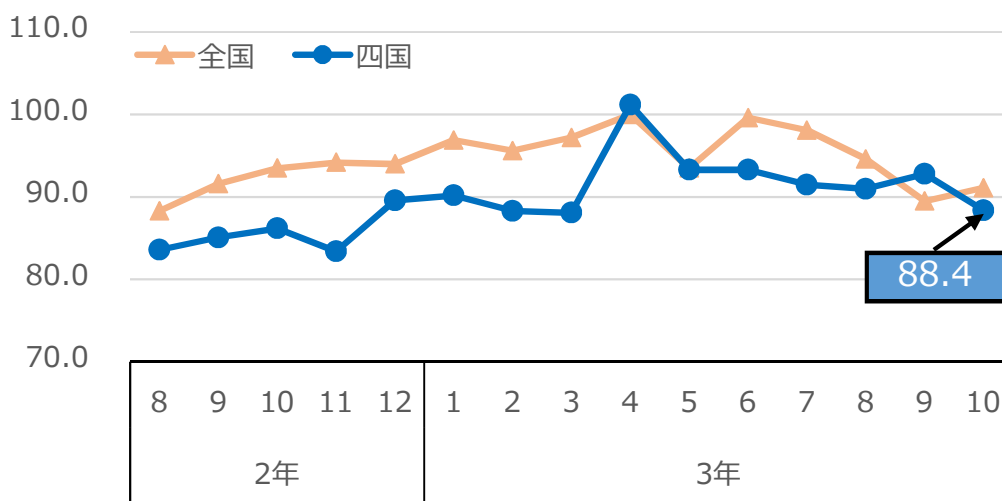
○受注残は増加している一方で、鋼材等の価格の上昇による船価の上昇が要因となって、船主が新規造船の契約を見送る動きがみられる。

## 〔鉱工業生産指数（季節調整済指数、3か月移動平均）〕



(平成27年=100) 【出所】 経済産業省、四国経済産業局の公表データから算出

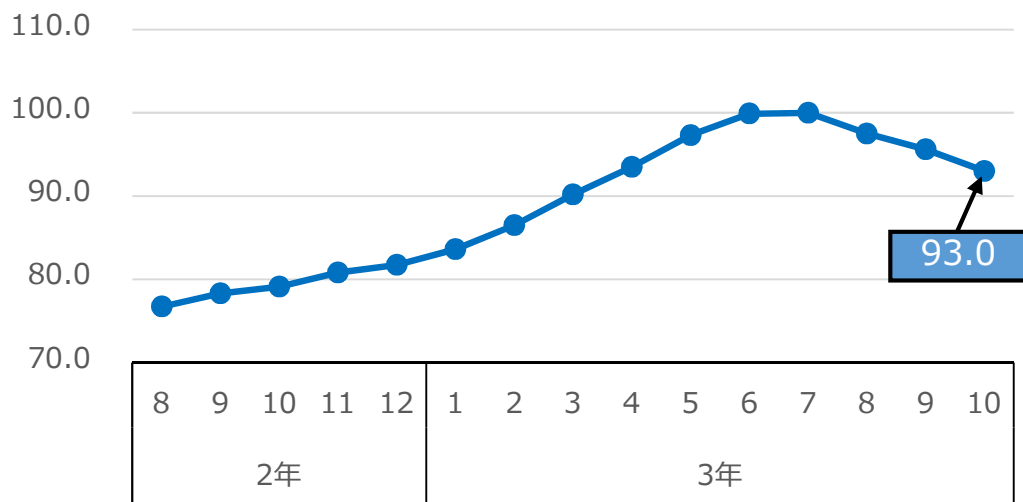
## 〔鉱工業生産指数（季節調整済指数、単月）〕



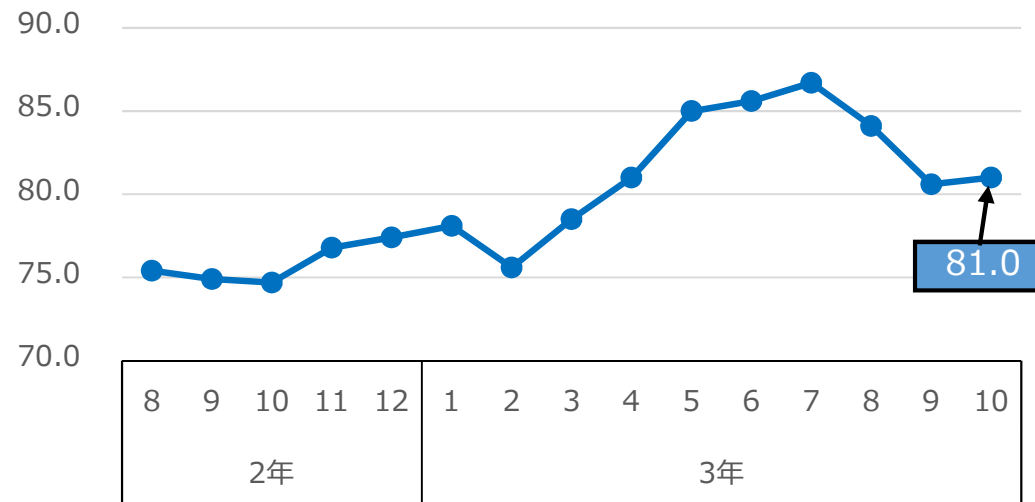
(平成27年=100) 【出所】 経済産業省、四国経済産業局

# 生産活動

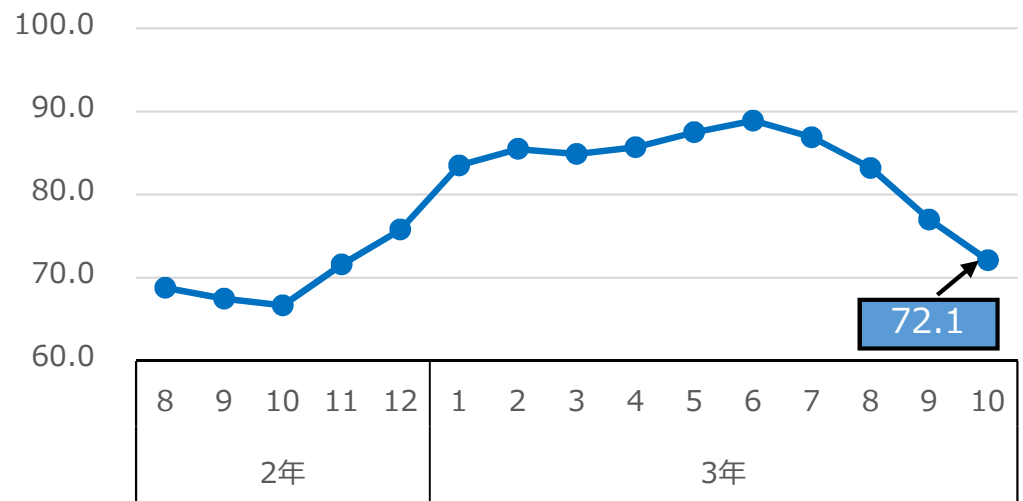
## 〔電気機械〕



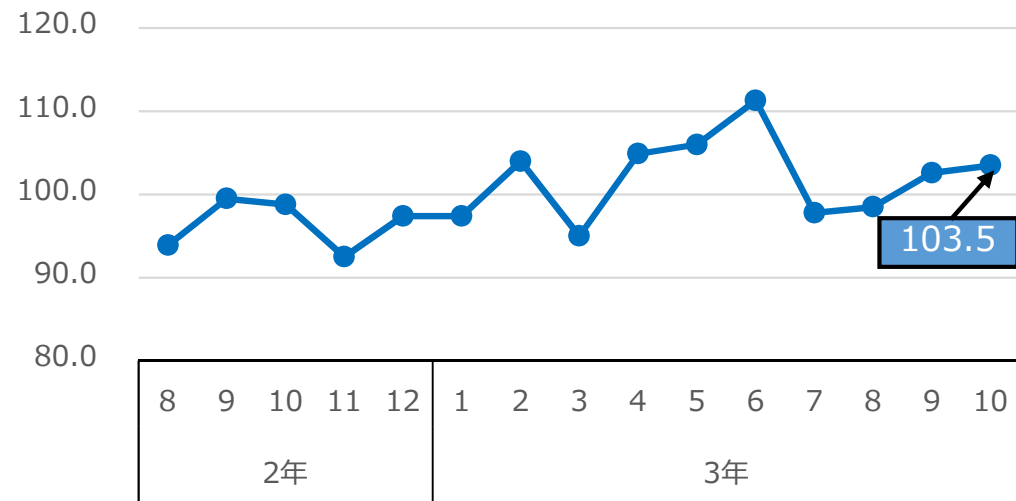
## 〔汎用・生産用機械〕



## 〔輸送機械〕



## 〔化学・石油石炭〕



(季節調整済指数、3か月移動平均、平成27年=100)【出所】四国経済産業局の公表データから算出

# 雇用情勢

## 雇用情勢

感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある  
(24期ぶり上方修正)

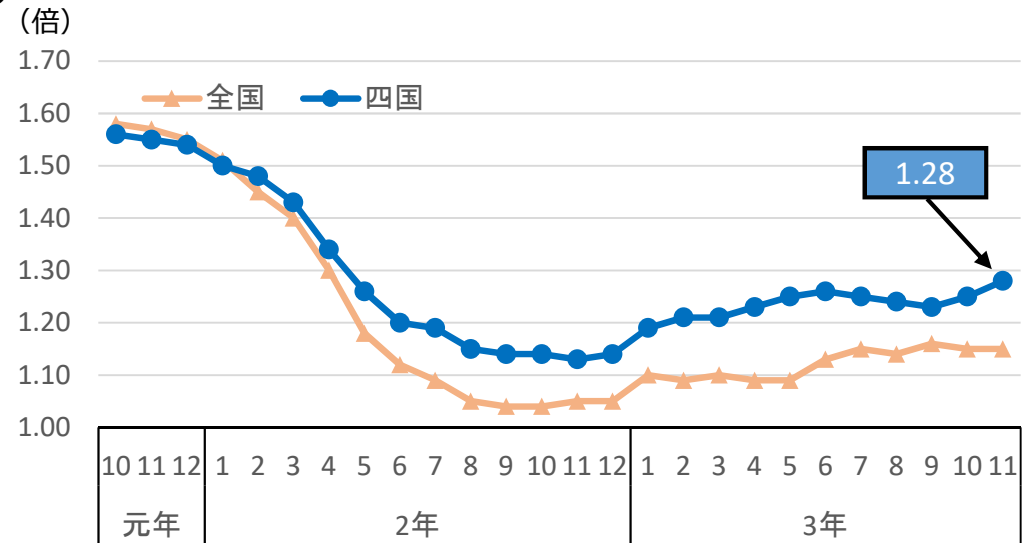
- 有効求人倍率は緩やかに上昇している。
- 新規求人数は前年を上回っている。

### 〔主なヒアリング結果〕

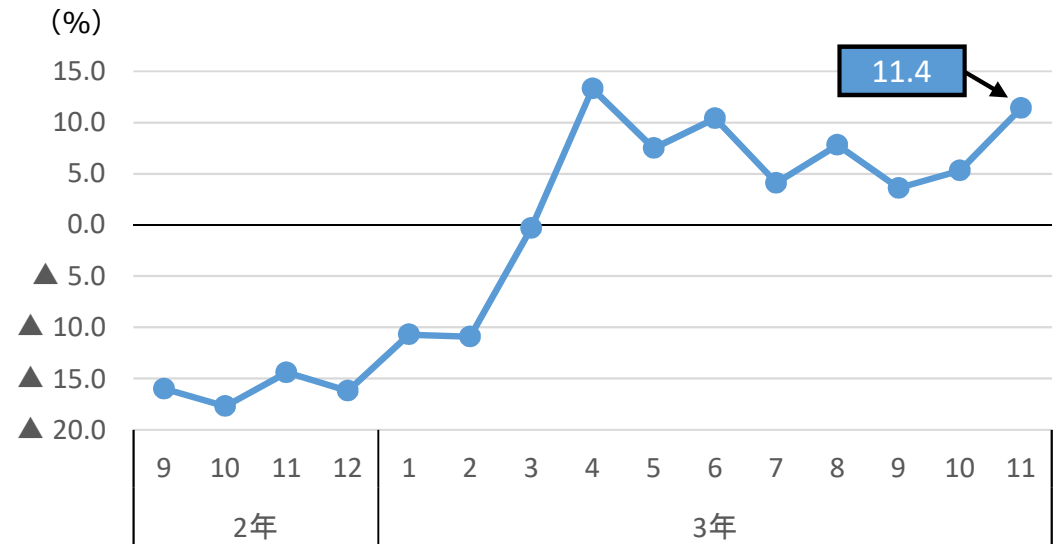
#### 《労働局》

- 感染症の収束への期待感から、宿泊業、飲食サービス業などで新規求人数が増加している。
- 製造業において、感染状況の落ち着きによる需要の回復を受けて、製造ラインの拡張による増員のほか、前年は求人を抑えた事業所が求人募集を再開するケースがみられ、新規求人数は前年と比べ増加した。

〔有効求人倍率（季節調整値）〕



〔四国の新規求人数（原数値、前年同月比）〕



【出所】厚生労働省の公表データから算出



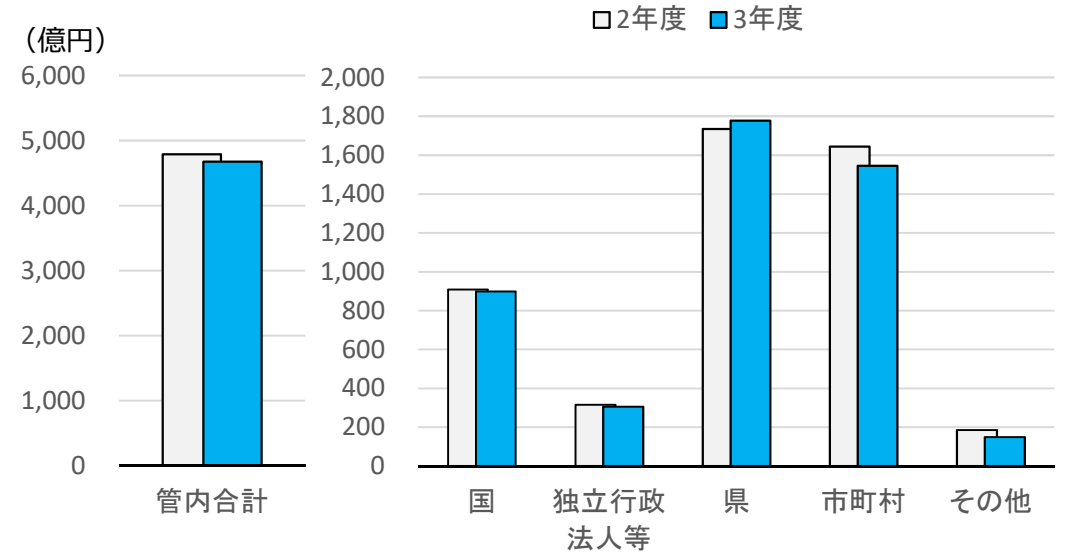
# 公共事業・住宅建設

## 公共事業

### 前年度を下回っている

- 前払金保証請負金額でみると、管内合計は前年度を下回っている。
- 発注者別にみると、県において前年度を上回っているものの、国、独立行政法人等、市町村において前年度を下回っている。

## 〔四国の公共工事前払金保証請負金額（12月累計額）〕



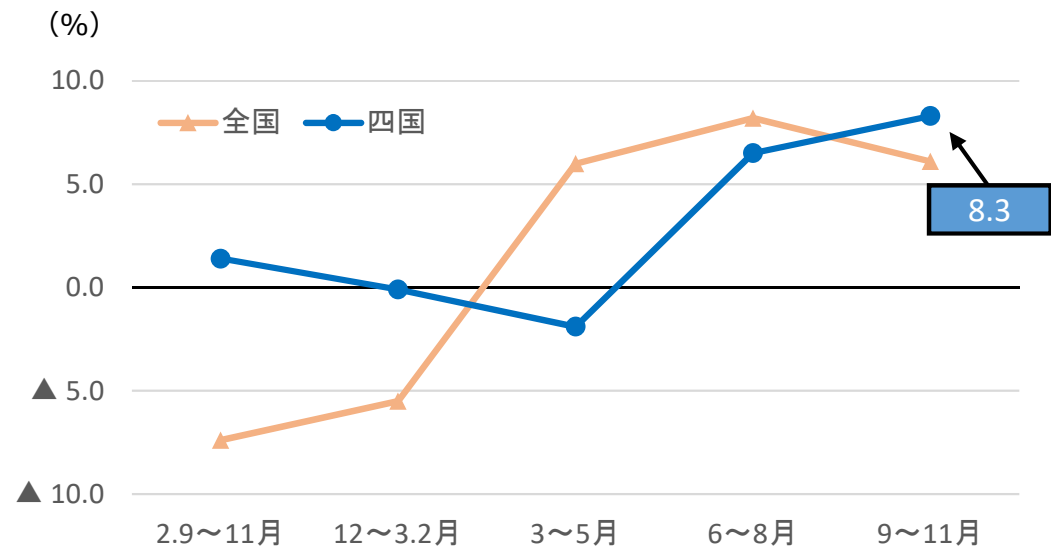
【出所】西日本建設業保証（株）等

## 住宅建設

### 前年を上回っている

- 新設住宅着工戸数でみると、分譲で前年を下回っているものの、持家及び貸家で前年を上回っており、全体としても前年を上回っている。

## 〔新設住宅着工戸数（前年同期比）〕



【出所】国土交通省の公表データから算出

# 設備投資・企業収益・企業の景況感

## 設備投資

### 3年度は前年度を上回る見込み

○3年度の「設備投資」は、非製造業で前年度を下回る見込みとなっているものの、製造業で前年度を上回る見込みとなっており、全体としても前年度を上回る見込みとなっている。

## 企業収益

### 3年度は増益見込み

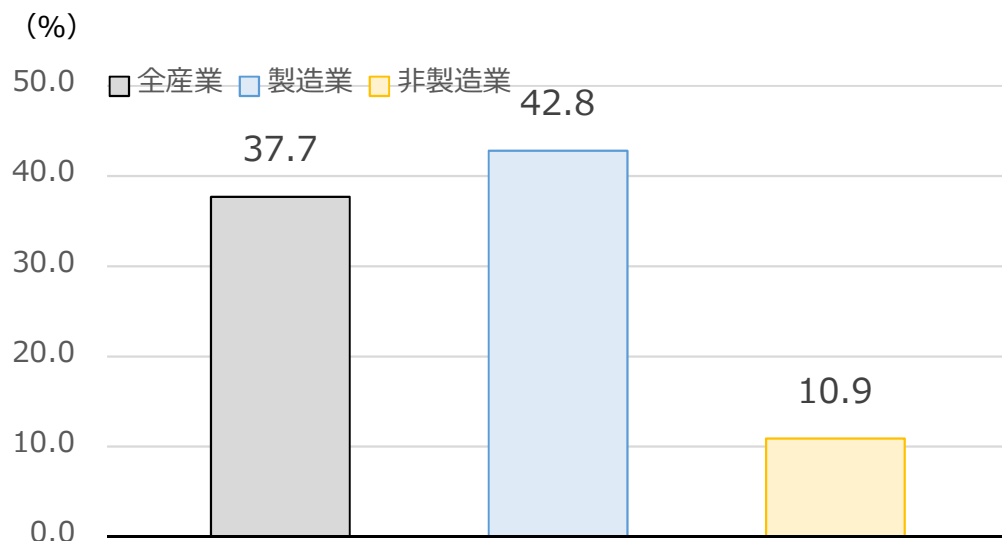
○3年度の「経常利益」は、製造業及び非製造業で増益見込みとなっており、全体としても増益見込みとなっている。

## 企業の景況感

### 「上昇」超

○3年10～12月期は、全産業で「上昇」超となっている。

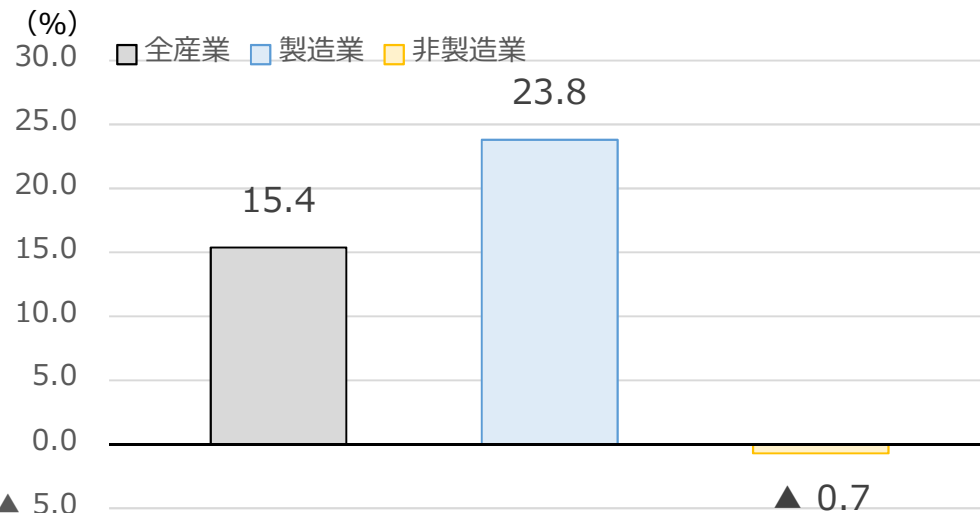
## 〔経常利益（四国、前年度比）〕



※3年10～12月期調査の結果

※「電気・ガス・水道業」、「金融業、保険業」を除く管内に本社が所在する企業

## 〔設備投資（四国、前年度比）〕

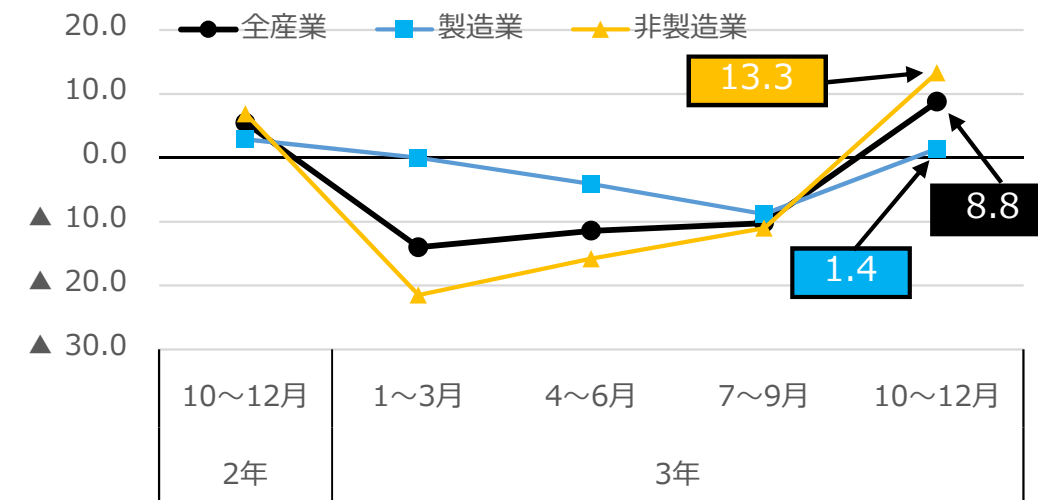


※3年10～12月期調査の結果

※ソフトウェア含む、土地除く

## 〔企業の景況判断BSI（四国）〕

(%ポイント)



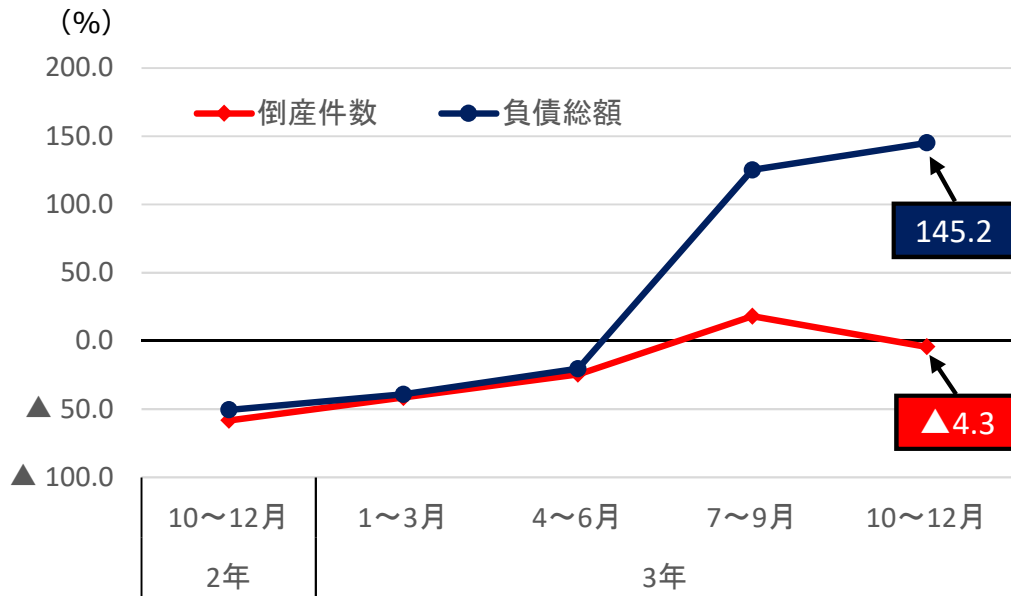
【出所】四国財務局（法人企業景気予測調査）

# 企業倒産・消費者物価（参考）

## 企業倒産

件数は前年を下回っているものの、負債総額は前年を上回っている

〔四国の倒産件数・負債総額（負債額1,000万円以上、前年同期比）〕

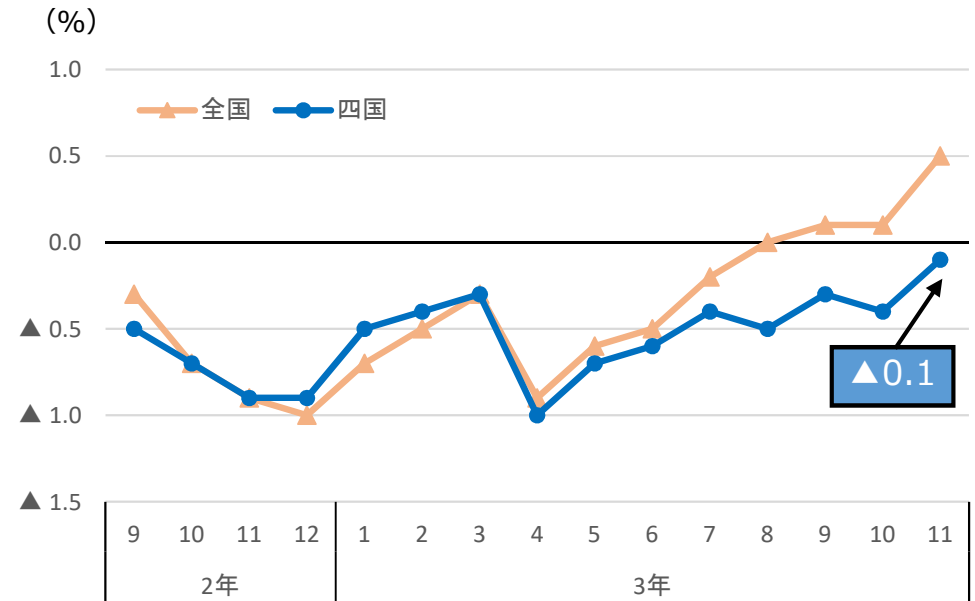


【出所】東京商工リサーチの公表データから算出

## 消費者物価

前年を下回っている

〔消費者物価指数（生鮮食品を除く総合、前年同月比）〕



(2020年 = 100) 【出所】総務省

※計数は、季節調整替え、基準改定、速報の確報化、誤計数の判明等により、過去に遡って訂正される場合があるので、利用される場合は、各発表機関の直近の公表データをご確認ください。

■お問い合わせは

TEL(087) 811-7780  
財務広報相談室（内線260）又は  
経済調査課（内線250）へ  
FAX(087) 823-2077  
ホームページアドレス  
<http://shikoku.mof.go.jp/>

